



丸太渡りレース結果

■子どもの部 (敬称略)

- 1位 中川 稔 (緑ヶ丘)
18 m・9 秒 13
- 2位 斉藤 嘉孝 (緑ヶ丘)
16 m 40 c m・7 秒 17
- 3位 藤田 勇斗 (中頓別町)
16 m・8 秒 78
- 4位 林 勇人 (日の出)
15 m・6 秒 26
- 5位 塚本 太郎 (豊寒別)
15 m・7 秒 24

■一般の部 (敬称略)

- 1位 清野 春彦 (日の出)
24 m・11 秒 31
- 2位 坂井亜樹臣 (名古屋市)
23 m 70 c m・11 秒 64
- 3位 斉藤 行夫 (緑ヶ丘)
23 m・15 秒 10
- 4位 中川 純 (緑ヶ丘)
18 m 20 c m・6 秒 56
- 5位 高橋 優 (緑ヶ丘)
17 m 90 c m・9 秒 99



▲一般の部優勝の清野春彦さん



▲子どもの部優勝の中川稔さん

7月13日、クッチャロ湖畔特設会場で、第40回クッチャロ湖水まつりが開催され、肌寒く時々霧雨が降るあいにくの天候にもかかわらず、会場は町民や観光客など約4千名が訪れ賑わいました。開会式の後、第25回クッチャロ湖リレーマラソンが行われ、午後からは、湖面に浮かんだ丸太を渡る距離とタイムを競う「水上丸太渡りレース」をはじめ、歌謡ショー、グルメまつり、プラスバンド演奏、アマチュアバンド演奏、浜頓別音頭、太鼓演奏、聖火祭と楽しい催しが盛りだくさんで行われました。まつりのフィナーレを飾る花火大会では、約800発の花火が打ち上げられ、夏の夜空に彩を添えました。

第40回

クッチャロ湖水まつり



▲ホタテバター焼無料サービスに長蛇の列



▲プラスバンド演奏 (浜頓別中学校)



▲町内で活躍するバンドの演奏



▲浜頓別太鼓の会「響」による迫力の演奏



▲先人と湖の恵みに感謝する聖火祭



▲浜頓別音頭の長い列





小学生低学年の部

順位	チーム名	タイム
優勝	ダンシアンドジョン	36分29秒
準優勝	バクレツ	36分58秒
第3位	龍(りゅう)	39分08秒

小学生高学年の部

順位	チーム名	タイム
優勝	白龍	49分34秒
準優勝	枝小64(えだしょうろくよん)	49分54秒
第3位	ジャビット	50分38秒

中学生男子の部

順位	チーム名	タイム
優勝	ベースボール	50分09秒
準優勝	ランサーエポリューションセブン	52分14秒
第3位	はしくれ	57分15秒

中学生女子の部

順位	チーム名	タイム
優勝	ZERO RUN	1時間6分28秒
準優勝	5円〜守護神 佐々木彩那〜	1時間13分30秒

高校・一般男子の部

順位	チーム名	タイム
優勝	スズヤクラブ	44分21秒
準優勝	浜高陸上部	44分54秒
第3位	浜高男子バスケットボール部	45分30秒

高校・一般女子の部

順位	チーム名	タイム
優勝	ポンド	53分37秒

区間ラップ賞 (敬称略)

部門	氏名	タイム
小学生低学年 (1・3・5区間)	吉田 裕	6分04秒
小学生低学年 (2・4・6区間)	瀬川 玲菜	4分59秒
小学生高学年	斉藤 圭祐	8分17秒
中学生男子	今田 拓実	8分50秒
中学生女子	吉田 恭子	11分37秒
高校・一般男子	鈴木 秀行	7分39秒
高校・一般女子	高田かおり	9分14秒

歯を食いしばって 全力疾走

第25回クッチャロ湖リレーマラソン大会



第25回クッチャロ湖リレーマラソン大会が、湖水まつりの午前中に行われ、小学生から一般までの46チームが出場しました。
レースはクッチャロ湖畔を発着し、途中に長い上り坂がある一周2.2キロメートルのコースを5名でリレーします。(小学校低学年は半周を6名でリレー)

霧雨が降る肌寒い天気の中、Tシャツ、短パン姿の元気な子ども達に、沿道の父母らは手作りの旗や横断幕を持って「頑張ってー!」と声援を送っていました。
また、高校・一般の部では、部活や友人、職場の仲間と構成されたチームが出場し、1周7分台という本格的な走りをする選手や、日頃の運動不足を痛感しながら息を切らして走る選手などが、ゴール目指して全力疾走していました。



▲歯を食いしばって全力疾走!



▲頑張ってー! 沿道からは声援が



▲肌寒く霧雨の降る中、緊張のスタート